

“気兼ねないお出かけ”高校生と高齢者が移動しやすくなる「(仮)新しい交通」の導入(静岡県吉田町)

教育・福祉×交通

事業実施主体

- 【共創プラットフォーム】吉田町地域公共交通協議会
- 【実施主体】吉田町
- 【共創パートナー】東海タクシー株式会社 (交通)
静岡県立榛原高等学校 (教育)
社会福祉法人吉田町社会福祉協議会 (福祉)
名古屋大学大学院環境学研究科 (支援) 他

地域課題

- 公共交通は、路線バスとタクシーで担われているが、今後は路線の減便や縮小が懸念。
- 住民の移動手段は自家用車の割合が高く、高校生等子どもや高齢者の移動手段が少なく、交通弱者の増加が危惧。

実証事業の内容

- 既存の路線バスだけでは対応できない町内の移動、バス停から遠い地点とバス停との移動を確保するため、オンデマンド型乗合タクシーを導入。
- 乗降場所に地区ごとに歩いて集まれる場所(ごみステーションなど)や、病院・医院、公共施設、スーパー等商業施設、バス停留所など、住民・来訪者がよく使う場所を選定。
- オンライン予約や電子決済を導入。

今後の展開

令和6年度以降については吉田町地域公共交通計画の施策として、吉田町として予算化する。令和6年度に実証実験を継続実施し、令和7年度以降本格導入を図る。

事業実施区域



事業体制

